

県女第一期生より、皆実高  
 校生に至る七拾年の歴史に  
 連なる者。また今後、この  
 同じ流に連なる者、手をつ  
 なぎ足音高く歩もう。足音  
 高く声を揃えて元気に歩も  
 う。我等は、皆実有朋会員  
 である。歩もう、歩もう、  
 力強く。



発行所  
 広島市出汐町  
 広島皆実高等学校内  
 社団法人  
 皆実有朋会  
 印刷所  
 四反田印刷株式会社  
 翠町電524・5107



# 皆実有朋同窓会館竣工

## ＝ 総工費 1,6492,500円 ＝

母校の創立七十周年を記念し、皆実有朋会の総力をあけて取り組んで来た皆実有朋同窓会館は、去る四月十日すべての工事を終わりました。

昭和四十七年一月二十八日、激しく雨の降る日、第一回の同窓会館建設委員会が開かれて以来、満四年と三月月一万余千人の同窓生の力の結晶が今誕生したのであります。長い年月でした。苦しい年月でした。しかし、その苦勞も今報われたのです。

昭和四十六年四月十六日、熊田理事長は満面の笑みをうかべて、テープを切りました。工事関係者と同窓会の役員と、それに学校の先生方だけの質素な開館式でした。コーラと紅白のまんじゅうだけのお祝いでしたが、また木の香りの漂う館内を森信組の社長さんに連れられた案内してもらったときの喜びは、何よりものお祝でした。

女関を入ると突きあたりが皆実有朋会の事務室、左は売店と食堂に通じます。二階へあがったとて、ろくに、湯沸し場と風呂と便所があり、南側に、会議室、有朋の間（八畳の和室）、皆実の間（三〇畳の和室）と続きます。陽当りも、風通しも文句のないすばらしい部屋です。クラス会に同期会に、十二分に利用して下さい。

一階の食堂はすでに使用されています。在校生よりかねてから要望のあったうどんカレーライスを業者委託して販売をはじめました。パンと牛乳だけの昼食から

暖かいうどんとカレーの昼食にかけわって生徒も大喜び。おかげで食券を売る事務高の友広さんと川村さんは大急がし。それでも生徒たちのためにと大はりきりです。

建物の正面には皆実二期の卒業生から寄贈された小庭園があり南側のテラスの周囲には、さっそく芝生が植えられました。これからは学校側と協力して、建物周辺の整備をはかることになっていきます。

会館は完成しました。しかし、建設費の一部はまだ未払いです。それに内装関係（家具、調度類）の費用も足りません。これらを合わせるにまた三〇〇万円余不足しています。建設費の方は、銀行から借り入れて支払うことになっていますが、内装関係の方は資金のメドがつかず、外は出来たが、中は空っぽの状態です。

みなさまの最後の協力をお願いします。また寄付金だけではなくて、花びんとか掛け軸とかの寄附もお願いします。せっかく立派な床の間がありながら、何も飾っていないのはあまりにもかわいそうです。また三〇畳の和室には茶道用の炉も切っており、お茶の道具等もお願いします。何かから何まで、ないものばかりです。一度会館をゆつくりながめて、お気付きのものを寄贈していただきたいと思ひます。

何はともあれ、一度ゆつくりご覧に出して下さい。お待ちしております。